



追加型投信 / 海外 / 債券

三菱UFJ / AMP オーストラリア・ハイインカム債券ファンド(毎月決算型)

【愛称:カンガルー・ジャンプ】

オーストラリアハイインカム債券を取り巻く3つのポイント

販売用資料 / データ基準日: 2016年11月30日

※本レポートはAMPキャピタル・インベスターズ・リミテッドのコメントを基に作成しております。

平素は「三菱UFJ / AMP オーストラリア・ハイインカム債券ファンド(毎月決算型)【愛称:カンガルー・ジャンプ】」をご愛顧賜り、厚く御礼申し上げます。

米国大統領選挙というイベントが終わり、金融市場は落ち着きをみせている状況です。ただし新興国の景気に対する先行きや、英国のEU(欧州連合)離脱の影響が懸念されるなど、今後も不透明な状況が続くと考えられます。そのような環境下、オーストラリアハイインカム債券の投資のポイントについて改めてご理解していただくため、本レポートを作成いたしましたので、ご参考にしていただけますと幸いです。

オーストラリアハイインカム債券*を取り巻く

3つのポイント

1 安定的な経済成長

- アジア経済の拡大によるオーストラリアへの旅行者の増加

2 財務体質の改善がみられる豪州企業

- 債務比率30%超に達したオーストラリア企業の債務比率は低下
- 金融システムに対する世界的な評価の高さ
(オーストラリアの金融機関の格付けは主要国の金融機関と比べ相対的に高い)

3 相対的に高利回りのオーストラリアハイインカム債券

- 主要債券より魅力的なオーストラリアハイインカム債券の利回り水準

※「オーストラリアハイインカム債券」とは当ファンドが主たる投資対象とするオーストラリア企業が発行する普通社債およびハイブリッド証券のことを指します。

**オーストラリアハイインカム債券の
インカム収入と値上がり益の獲得をめざします**

■ 上記は、過去の実績・状況、作成時点での見通しまたは分析です。これらは、将来の市場環境の変動や運用状況・成果を示唆・保証するものではありません。また、税金・手数料等を考慮していません。

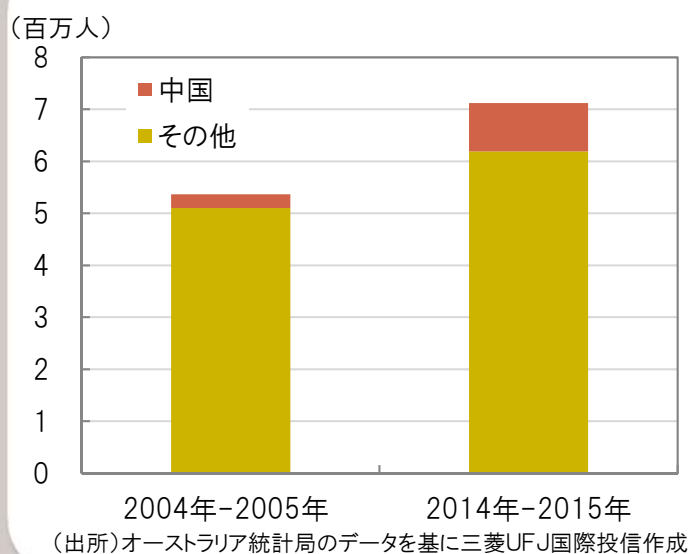
三菱UFJ/AMP オーストラリア・ハイインカム債券ファンド(毎月決算型)【愛称:カンガルー・ジャンプ】

1 安定的な経済成長

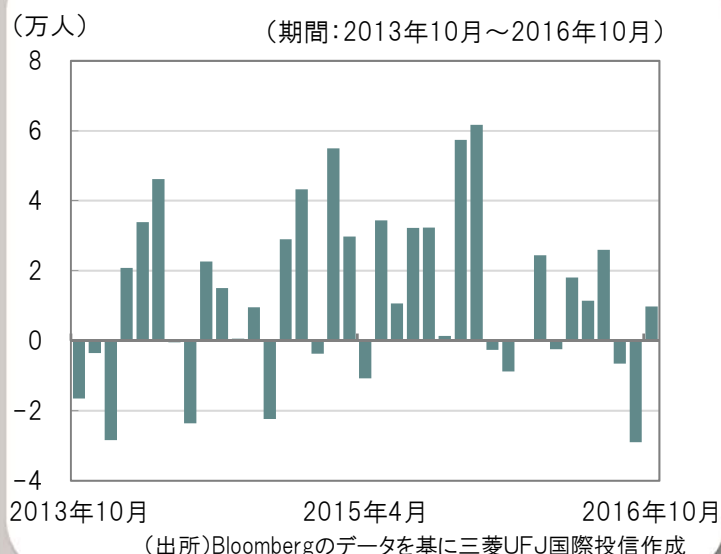
内需の活性化

- 近年アジア経済の成長が続くなか、中国を中心とした海外からオーストラリアへの旅行者の増加は内需の活性化に繋がり、2016年10月には雇用者数がプラスに転じる等、オーストラリア経済を押し上げています。今後も中長期的にこうした状況が継続し、同国経済は拡大していくことが期待されます。

オーストラリアへの旅行者数



オーストラリアの新規雇用者数(前月比)



底堅く推移することが見込まれる為替動向(対円)

足下で、オーストラリア経済は一連の金融緩和による内需改善の兆しが見られることや、鉄鉱石等の資源価格の回復等を背景に豪ドル(対円)は底堅く推移すると考えられます。

また、米国主導で景気回復が進めば投資家のリスク回避姿勢が後退し、安全資産とされる円が売られることも考えられます。

一方、日銀が強固な金融緩和姿勢を維持していることなどから、豪ドル(対円)の下支え要因になるとみられています。

豪ドル(対円)の推移



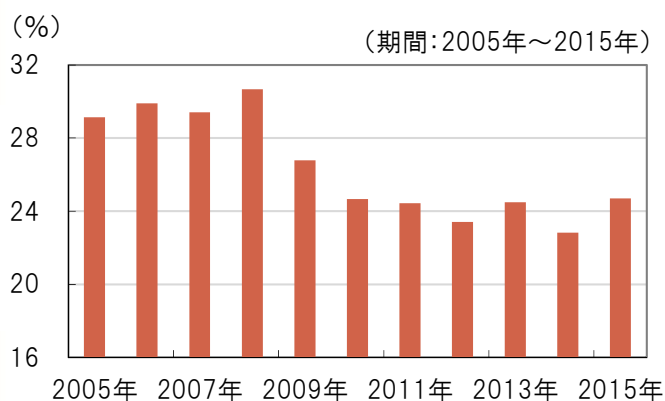
■ 上記は、過去の実績・状況、作成時点での見通しまたは分析です。これらは、将来の市場環境の変動や運用状況・成果を示唆・保証するものではありません。また、税金・手数料等を考慮していません。

三菱UFJ/AMP オーストラリア・ハイインカム債券ファンド(毎月決算型)【愛称:カンガルー・ジャンプ】

2 財務体質の改善がみられる豪州企業

- ・リーマンショック後、オーストラリア企業の債務比率は30%超に達しましたが、在庫調整や消費者マインドが改善したこと等を背景に、低下しました。
- ・オーストラリアの金融機関は、主要国の中でも相対的に高い格付けが付与される等、財務の健全性が高いと見られます。

オーストラリア企業の総債務／総資産比率の推移



(出所)Bloombergのデータを基に三菱UFJ国際投信作成

各主要国金融機関の格付け

(2016年11月末基準)

企業名	国名	格付け
オーストラリア・コモンウェルス銀行	オーストラリア	AA-
ウェストパック銀行	オーストラリア	AA-
ANZ銀行グループ	オーストラリア	AA-
ナショナル・オーストラリア銀行	オーストラリア	AA
ウェルズ・ファアゴ	米国	AA-
JPMorgan・チェース・アンド・カンパニー	米国	A+
BNPパリバ	フランス	A+
HSBCホールディングス	英国	AA-
中国工商銀行	中国	A

※格付けは、2016年11月末時点のS&P(スタンダード・アンド・プアーズ)、Moody's(ムーディーズ・インベスターズ・サービス)、Fitch(フィッチ・レーティングス)の3社のうち、最も高い格付けを採用し、S&Pの表示方法で記載しています。

(出所)Bloombergのデータを基に三菱UFJ国際投信作成

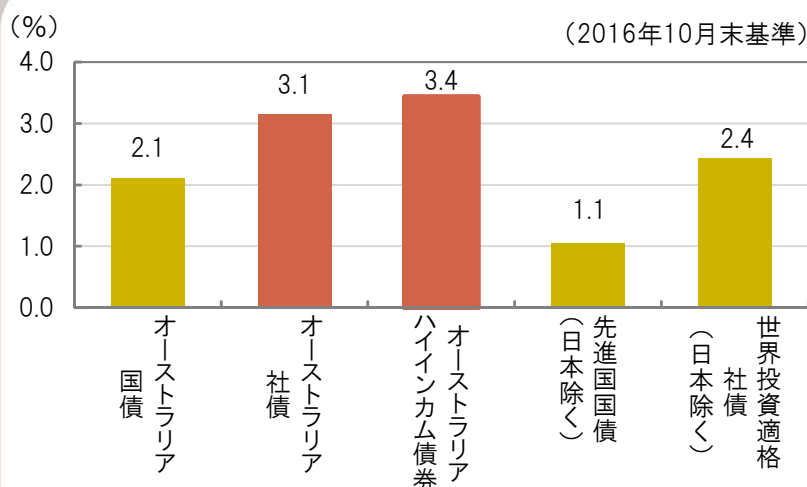
3 相対的に高利回りのオーストラリアハイインカム債券

オーストラリアハイインカム債券の利回りは、日本を除いた先進国国債やオーストラリア国債を上回っています。

・オーストラリアハイインカム債券の利回りは、ファンドの最終利回りを使用しており、AMPキャピタル・インベスターズ・リミテッドより提供された運用ポートフォリオベース(債券先物を含む)のものです。個別債券ごとに、繰上償還条項が付与されている銘柄は原則として直近の繰上償還予定日、それ以外は償還日を使用して計算しています。

・最終利回りとは、個別債券ごとの複利利回りを加重平均したものです。利回りは、計算日時点の評価に基づくものであり、売却や償還による差損益等を考慮した後のファンドの「期待利回り」を示すものではありません。

各債券の利回り比較



(出所)AMPキャピタル・インベスターズ・リミテッド、Bloombergのデータを基に三菱UFJ国際投信作成

■各資産は為替やその他の特性を考慮しておらず、利回りだけで単純に比較できるものではありません。■上記は、投資対象の発行体の一例を示すために掲載したものであり、実際に当該銘柄に投資を行うことを保証するものではありません。また、特定の銘柄の推奨あるいは証券売買の勧誘を目的としたものではありません。■上記は指数を使用しております。指数については【本資料で使用している指数について】をご覧ください。■上記は、過去の実績・状況、作成時点での見通しまたは分析です。これらは、将来の市場環境の変動や運用状況・成果を示唆・保証するものではありません。また、税金・手数料等を考慮していません。

三菱UFJ/AMP オーストラリア・ハイインカム債券ファンド(毎月決算型)【愛称:カンガルー・ジャンプ】

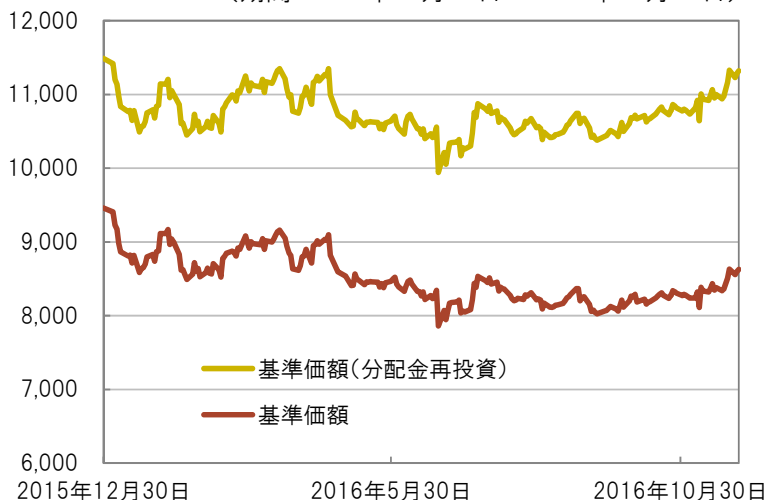
基準価額の推移(設定来)

(期間:2012年12月7日(設定日)~2016年11月30日)



基準価額の推移(2016年初来)

(期間:2015年12月30日~2016年11月30日)



- ・基準価額、基準価額(分配金再投資)は設定日の前営業日を10,000として指数化しています。
- ・基準価額および基準価額(分配金再投資)は、信託報酬控除後の値です。
- ・基準価額(分配金再投資)は、分配金(税引前)を再投資したものと計算しています。

2016年初来の投資環境と運用状況

年初来のオーストラリア社債市況は上昇しました。2016年1月から2月中旬にかけては、原油等国际商品市況の下落や中国経済に対する先行き不透明感が高まったこと、その後も5月上旬に豪州準備銀行(RBA)が政策金利の引き下げを決定したこと、6月下旬に英国で実施された国民投票でEU離脱が選択され、投資家のリスク回避姿勢が強まったこと等を受けて、オーストラリアの金利は低下しました。

なお、豪ドル(対円)は、5月上旬にRBAが政策金利の引き下げを決定したこと、4月末や7月末に行われた日銀の金融政策決定会合において追加緩和策が市場予想を下回ったこと等から、年初来で下落となりました。

こうした環境下、2月末にかけて、短期的には中国等新興国経済の低迷がオーストラリアの金利の低下圧力となるとの見方から、オーストラリア社債市場平均と比較してファンドのデュレーション※をやや長めの水準としました。その後、オーストラリアの金利が低下したこと等から、3月上旬から4月上旬にかけては、ファンドのデュレーションを概ねオーストラリア社債市場平均並みの水準とし、4月中旬から10月末にかけては、やや短めの水準としました。また相対的に投資魅力が高いと考えられるハイブリッド証券を組入れる運用を継続しました。このような運用を行った結果、オーストラリア社債市況が上昇したこと等がプラス要因となったものの、豪ドルが対円で下落したこと等がマイナス要因となり、基準価額(分配金再投資)は下落しました。

※デュレーションは、債券価格の弾力性を示す指標として用いられ金利の変化に対する債券価格の変動率を示します。

今後の運用方針

世界経済は、短期的には中国など新興国経済の先行き不透明感や英国のEU離脱の影響が懸念されるものの、中長期的には米国主導で緩やかながらも回復が続くと予想しています。欧州では一部の経済指標に改善の兆しが見られます。こうした環境は、引き続きオーストラリア企業のファンダメンタルズにとってプラスに働くと考えます。オーストラリア経済においては、鉱業部門を中心とした投資ブーム終了後の景気動向が注目されるものの、個人消費などの内需が堅調に推移していることは、オーストラリア社債市況のプラス要因になると見ています。クレジットスプレッド(国債との利回り格差)は、オーストラリア企業の良好なファンダメンタルズを背景に、さらに縮小する(社債価格の上昇要因)余地があると見ています。また、オーストラリア社債市場において、引き続き投資家の旺盛な需要がみられることもプラス要因になると考えます。

投資においては、米国、オーストラリアの景気動向や金融政策等、オーストラリア社債市況を取り巻く環境を注視しつつ、慎重な銘柄選択を行っていく方針です。

■上記は、過去の実績・状況、作成時点での見通しまたは分析です。これらは、将来の市場環境の変動や運用状況・成果を示唆・保証するものではありません。また、税金・手数料等を考慮していません。

収益分配金に関する留意事項

- 分配金は、預貯金の利息とは異なり、投資信託の純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。

投資信託から分配金が支払われるイメージ

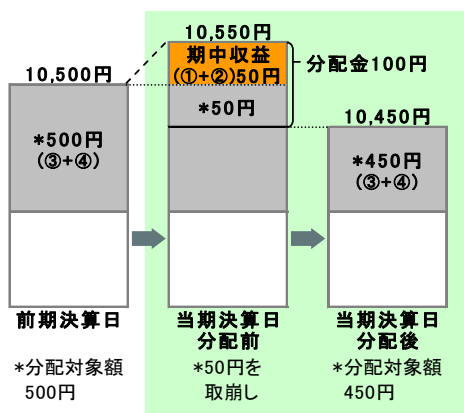


- 分配金は、計算期間中に発生した収益(経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益)を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。

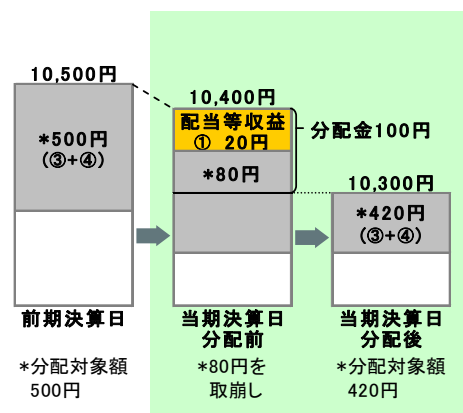
分配対象額は、①経費控除後の配当等収益および②経費控除後の評価益を含む売買益ならびに③分配準備積立金および④収益調整金です。分配金は、分配方針に基づき、分配対象額から支払われます。

計算期間中に発生した収益を超えて支払われる場合

前期決算日から基準価額が上昇した場合



前期決算日から基準価額が下落した場合



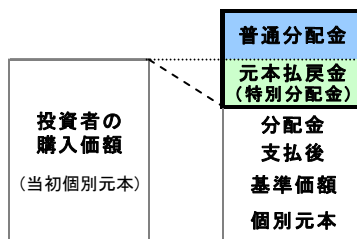
※上記はイメージであり、実際の分配金額や基準価額を示唆するものではありませんのでご注意ください。

分配準備積立金: 当期の①経費控除後の配当等収益および②経費控除後の評価益を含む売買益のうち、当期分配金として支払わなかった残りの金額をいいます。信託財産に留保され、次期以降の分配金の支払いに充当できる分配対象額となります。

収益調整金: 追加型投資信託で追加設定が行われることによって、既存の受益者への収益分配可能額が薄まらないようにするために設けられた勘定です。

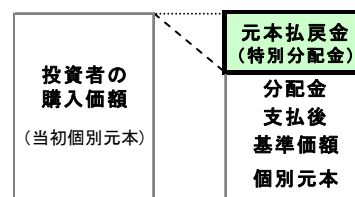
- 投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がりりが小さかった場合も同様です。

分配金の一部が元本の一部払戻しに相当する場合



※元本払戻金(特別分配金)は実質的に元本の一部払戻しとみなされ、その金額だけ個別元本が減少します。また、元本払戻金(特別分配金)部分は非課税扱いとなります。

分配金の全部が元本の一部払戻しに相当する場合



普通分配金: 個別元本(投資者のファンドの購入価額)を上回る部分からの分配金です。

元本払戻金(特別分配金): 個別元本を下回る部分からの分配金です。分配後の投資者の個別元本は、元本払戻金(特別分配金)の額だけ減少します。

(注) 普通分配金に対する課税については、投資信託説明書(交付目論見書)をご参照ください。

購入時手数料に関する留意事項

お客さまにご負担いただく購入時手数料の具体例は以下の通りです。販売会社によっては金額指定、口数指定どちらかのみのお取扱いになる場合があります。くわしくは、販売会社にご確認ください。

[金額を指定して購入する場合]

購入金額に購入時手数料を加えた額が指定金額となるよう購入口数を計算します。例えば、100万円の金額指定でご購入いただく場合、100万円の中から購入時手数料(税込)をご負担いただきますので、100万円全額が当該ファンドの購入金額となるものではありません。

[口数を指定して購入する場合]

例えば、基準価額10,000円(1万口当たり)の時に100万口ご購入いただく場合、購入時手数料=(10,000円÷1万口)×100万口×手数料率(税込)となり、100万円と購入時手数料の合計額をお支払いいただくことになります。

三菱UFJ/AMP オーストラリア・ハイインカム債券ファンド(毎月決算型)【愛称:カンガルー・ジャンプ】

ファンドの目的・特色

■ファンドの目的

オーストラリアの企業が発行する普通社債、劣後債および優先証券等を実質的な主要投資対象とし、利子収益の確保および値上がり益の獲得をめざします。

■ファンドの特色

投資対象 オーストラリアの企業が発行する普通社債、劣後債および優先証券等が実質的な主要投資対象です。

・劣後債、優先証券(以下、「ハイブリッド証券」という場合があります。)は、債券と株式の両方の特性を有しており、上場または非上場となっています。ハイブリッド証券は一般に利息(配当)が定められており、満期時や繰上償還時に額面で償還される等、債券に似た性質を有しています。同一発行体が発行している普通社債とハイブリッド証券を比べると、ハイブリッド証券の方が普通社債よりも利回りが高く、また期待リターンも高くなります。その一方で、リスクは普通社債に比べてハイブリッド証券の方が高くなり、また弁済順位は普通社債に比べて低いという特徴もあります。また一部のハイブリッド証券については償還時に株式に転換されるものもあります。

運用の委託先 債券等の運用にあたっては、AMPキャピタル・インベスターズ・リミテッドに運用の指図に関する権限を委託します。

運用方法 債券等への投資にあたっては、高水準のインカム収入を確保しつつ、マクロ要因分析、業種分析、個別企業の財務・業績分析等の信用リスク分析に基づき割安度を評価し、銘柄選定を行います。

為替対応方針 原則として、為替ヘッジを行いません。

■ファンドの仕組み

・運用は主にAMP オーストラリア・ハイインカム債券マザーファンドへの投資を通じて、オーストラリアの企業が発行する普通社債、劣後債および優先証券等へ実質的に投資するファミリーファンド方式により行います。

■分配方針

・毎月の決算時(7日(休業日の場合は翌営業日))に分配を行います。

・原則として、基準価額水準、市況動向等を勘案して分配を行います。ただし、分配対象収益が少額の場合は、分配を行わないことがあります。また、分配金額は運用実績に応じて変動します。将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。

市況動向および資金動向等により、上記のような運用が行えない場合があります。

投資リスク

■基準価額の変動要因

ファンドの基準価額は、組み入れている有価証券等の価格変動による影響を受けますが、これらの運用により信託財産に生じた損益はすべて投資者のみなさまに帰属します。

したがって、投資者のみなさまの投資元本が保証されているものではなく、基準価額の下落により損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。

投資信託は預貯金と異なります。

ファンドの基準価額の変動要因として、主に以下のリスクがあります。(次ページに続きます。)

価格変動 リスク	一般に、公社債の価格は市場金利の変動等を受けて変動するため、ファンドはその影響を受け組入公社債の価格の下落は基準価額の下落要因となります。
為替変動 リスク	組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いませんので、為替変動の影響を大きく受けます。
信用 リスク	組入有価証券等の発行者や取引先等の経営・財務状況が悪化した場合またはそれが予想された場合もしくはこれらに関する外部評価の悪化があった場合等には、当該組入有価証券等の価格が下落することやその価値がなくなること、または利払い・償還金の支払いが滞ることがあります。
流動性 リスク	有価証券等を売却あるいは取得しようとする際に、市場に十分な需要や供給がない場合や取引規制等により十分な流動性の下での取引を行えない場合または取引が不可能となる場合、市場実勢から期待される価格より不利な価格での取引となる可能性があります。また、ファンドが組み入れる劣後債および優先証券等は、一般の公社債と比べ市場規模が小さく、一般的に取引量も少ないため、流動性リスクも高い傾向にあります。

ご購入の際には、必ず投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

三菱UFJ/AMP オーストラリア・ハイインカム債券ファンド(毎月決算型)【愛称:カンガルー・ジャンプ】

投資リスク

劣後債および優先証券等(以下、「ハイブリッド証券」といいます)への投資には次のような特徴があり、価格変動・信用・流動性の各リスクは普通社債への投資と比較して相対的に大きいものとなります。

(弁済の劣後)

一般的にハイブリッド証券の法的弁済順位は株式に優先し、普通社債に劣後します。したがって、発行体が経営破たん等に陥った場合、普通社債等の元利金が支払われてもハイブリッド証券は元利金の支払いを受けられないことがあります。また、ハイブリッド証券は、一般的に同一発行体の普通社債と比較して低い格付けが格付機関により付与されています。

(繰上償還の延期・前倒し)

一般的にハイブリッド証券には、繰上償還(コール)条項が付与されており、この繰上償還の実施は発行体が決定することとなっています。繰上償還されることを前提として取引されている証券もあり、これらの証券が市場で予想されていた期日に繰上償還が実施されない場合、あるいは実施されないと見込まれる場合、また市場で予想されていた期日以前に償還される場合には、当該証券の価格が大きく下落することがあります。

(利息・配当の繰り延べまたは停止)

利息または配当の支払い繰り延べ条項を有するハイブリッド証券は、発行体の財務状況や収益動向等の要因によって、利息または配当の支払いが繰り延べまたは停止される可能性があります。この場合、期待される利払いや配当が得られないこととなり、ハイブリッド証券の価格が下落する可能性があります。

(株式等への転換)

一部のハイブリッド証券には、発行体の判断で実質的に株式等に転換する条項が付与されている場合があります。これらの証券が転換される、もしくは転換されると見込まれる場合には、当該証券の価格が大きく下落することがあります。

(制度変更等)

将来、ハイブリッド証券にかかる税制の変更や、当該証券市場にとって不利益な制度上の重大な変更等があった場合には、税制上・財務上のメリットがなくなるか、もしくは著しく低下する等の事由により、投資成果に悪影響を及ぼす可能性があります。

ファンドは、格付けの低い投資適格未満の普通社債、劣後債および優先証券等に投資する場合があります。格付けの高い公社債への投資を行う場合に比べ、価格変動・信用・流動性の各リスクが大きくなる可能性があります。

■その他の留意点

- ・ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定(いわゆるクーリングオフ)の適用はありません。
- ・ファンドは、ファミリーファンド方式により運用を行います。そのため、ファンドが投資対象とするマザーファンドを共有する他のベビーファンドの追加設定・解約によってマザーファンドに売買が生じた場合などには、ファンドの基準価額に影響する場合があります。

ご購入の際には、必ず投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

三菱UFJ/AMP オーストラリア・ハイインカム債券ファンド(毎月決算型)【愛称:カンガルー・ジャンプ】

手続・手数料等

■お申込みメモ

購入単位	販売会社が定める単位/販売会社にご確認ください。
購入価額	購入申込受付日の翌営業日の基準価額 ※基準価額は1万口当たりで表示されます。基準価額は委託会社の照会先でご確認ください。
換金単位	販売会社が定める単位/販売会社にご確認ください。
換金価額	換金申込受付日の翌営業日の基準価額
換金代金	原則として、換金申込受付日から起算して5営業日目から販売会社においてお支払いします。
申込不可日	次のいずれかに該当する日には、購入・換金はできません。 ・シドニー先物取引所、シドニーの銀行の休業日 ・シドニーにおける債券市場の取引停止日 ※具体的な日付については、委託会社のホームページ(「ファンド関連情報」内の「お申込み不可日一覧」)をご覧ください。
申込締切時間	原則として、午後3時までに販売会社が受付けたものを当日の申込分とします。
換金制限	ファンドの資金管理を円滑に行うため、大口の換金のお申込みに制限を設ける場合があります。
購入・換金申込受付の中止及び取消し	金融商品取引所等における取引の停止、外国為替取引の停止、その他やむを得ない事情があるときは、購入・換金のお申込みの受付を中止すること、およびすでに受付けた購入・換金のお申込みの受付を取消すことがあります。
信託期間	2022年10月7日まで(2012年12月7日設定)
繰上償還	受益権の口数が10億口を下回ることとなった場合等には、信託期間を繰上げて償還となることがあります。
決算日	毎月7日(休業日の場合は翌営業日)
収益分配	毎月の決算時に分配を行います。 販売会社との契約によっては、収益分配金の再投資が可能です。
課税関係	課税上は、株式投資信託として取扱われます。個人受益者については、収益分配時の普通分配金ならびに換金時および償還時の譲渡益に対して課税されます。NISA(少額投資非課税制度)およびジュニアNISA(未成年者少額投資非課税制度)の適用対象です。税法が改正された場合等には、変更となることがあります。くわしくは投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

■ファンドの費用

お客さまが直接的に負担する費用

購入時手数料 購入価額に対して、**上限3.24%(税抜 3%)**(販売会社が定めます)
(購入される販売会社により異なります。くわしくは、販売会社にご確認ください。)

信託財産留保額 ありません。

お客さまが信託財産で間接的に負担する費用

運用管理費用(信託報酬) 日々の純資産総額に対して、**年率1.512%(税抜 年率1.4%)**をかけた額

その他の費用・手数料 監査法人に支払われるファンドの監査費用・有価証券等の売買時に取引した証券会社等に支払われる手数料・有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用・その他信託事務の処理にかかる諸費用等についてもファンドが負担します。
※上記の費用・手数料については、売買条件等により異なるため、あらかじめ金額または上限額等を記載することはできません。

※運用管理費用(信託報酬)および監査費用は、日々計上され、毎決算時または償還時にファンドから支払われます。

※上記の費用(手数料等)については、保有金額または保有期間等により異なるため、あらかじめ合計額等を記載することはできません。
なお、ファンドが負担する費用(手数料等)の支払い実績は、交付運用報告書に開示されていますのでご参照ください。

本資料のご利用にあたっての注意事項等

●本資料は、三菱UFJ国際投信が作成した資料です。投資信託をご購入の場合は、販売会社よりお渡しする最新の投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。●本資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。●本資料は信頼できると判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性等を保証するものではありません。●本資料中のグラフ・数値等は、過去の実績・状況であり、将来の市場環境等や運用成果等を示唆・保証するものではありません。また税金・手数料等を考慮しておりませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。●投資信託は、預金等や保険契約とは異なり、預金保険機構、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。銀行等の登録金融機関でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の補償の対象ではありません。●投資信託は、販売会社がお申込みの取扱いを行い委託会社が運用を行います。

●委託会社(ファンドの運用の指図等)

三菱UFJ国際投信株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第404号
加入協会: 一般社団法人 投資信託協会
一般社団法人 日本投資顧問業協会

<ホームページアドレス> <http://www.am.mufig.jp/>
<お客さま専用フリーダイヤル> 0120-151034
(受付時間 営業日の9:00~17:00)

●受託会社(ファンドの財産の保管・管理等)

三菱UFJ信託銀行株式会社

ご購入の際には、必ず投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

販売会社情報一覧表

ファンド名称:三菱UFJ/AMP オーストラリア・ハイインカム債券ファンド(毎月決算型)

商号	登録番号等	日本証券業協会	一般社団法人 日本投資顧問業協会	一般社団法人 金融先物取引業協会	一般社団法人 第二種金融商品取引業協会
株式会社 三菱東京UFJ銀行	登録金融機関 関東財務局長(登金)第5号	○		○	○
三菱UFJ信託銀行株式会社	登録金融機関 関東財務局長(登金)第33号	○		○	
三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第2336号	○	○	○	○

【本資料で使用している指数について】

■オーストラリア企業【MSCI オーストラリア インデックス】

MSCI オーストラリア インデックスとは、MSCI Inc.が開発したオーストラリアの株価指数です。同指数に対する著作権およびその他知的財産権はすべてMSCI Inc.に帰属します。

■オーストラリア国債【シティオーストラリア国債インデックス】

シティオーストラリア国債インデックスとは、Citigroup Index LLCにより開発、算出および公表されている、オーストラリア国債の総合収益率を指数化した債券インデックスです。

■オーストラリア社債【BofA Merrill Lynch オーストラリア社債インデックス】

BofA Merrill Lynch オーストラリア社債 インデックスとは、BofA Merrill Lynchが算出するオーストラリア国内で発行されたオーストラリアドル建ての投資適格社債の値動きを表す指数です。同指数に関する知的所有権、その他一切の権利はBofA Merrill Lynchに帰属します。BofA Merrill Lynchは同指数を参照して行われる当社の事業活動・サービスに関し一切の責任を負いません。

■先進国国債(日本除く)【シティ世界国債インデックス(除く日本)】

シティ世界国債インデックス(除く日本)とは、Citigroup Index LLCにより開発、算出および公表されている、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。

■世界投資適格社債(日本除く)【ブルームバーグ・バークレイズ・グローバル社債(日本円除く)インデックス】

ブルームバーグ・バークレイズ・グローバル社債(日本円除く)インデックスとは、ブルームバーグが算出する世界の投資適格社債(円建てのものを除く)の値動きを表す指数です。ブルームバーグ(BLOOMBERG)は、ブルームバーグ・ファイナンス・エル・ピー(Bloomberg Finance L.P.)の商標およびサービスマークです。バークレイズ(BARCLAYS)は、ライセンスに基づき使用されているバークレイズ・バンク・ピーエルシー(Barclays Bank Plc)の商標およびサービスマークです。ブルームバーグ・ファイナンス・エル・ピーおよびその関係会社(以下「ブルームバーグ」と総称します。)またはブルームバーグのライセンサーは、ブルームバーグ・バークレイズ・インデックス(BLOOMBERG BARCLAYS INDICES)に対する一切の独占的権利を有しています。